

福室再発見!

にござる世も

いしぶみでわかる

宮城野の原

郷土のむかし

父母の恩おばここに高見堂

いっほうのみなれば



今、石碑が面白い!

いしぶみ(碑)

身近にあって

普段見過ごされがちな石碑は

ご先祖から届けられた石の手紙。

石碑を手掛かりに、地域の歴史や

先祖たちの想いに迫ります。



① 「宮城三十三観音句碑と観音信仰」

仙台三十三観音、奥州三十三観音は有名ですが、宮城三十三観音をご存知ですか?

意外と知られていませんが、福室近辺にはその札所が散らばっており、

しかも誓渡寺門前には三十三観音の碑が3つもあるのです!

講師：東北学院大学文学部歴史学科教授 政岡伸洋 氏

2/28(木)

② 「“いしぶみ” から福室の歴史と民俗を探る」

西光寺にある板碑の一つは「正平親王の墓」と呼ばれています。正平親王とは誰なのか。

この石碑をはじめ福室地域の石碑の謎を、今話題の石黒伸一郎氏に解き明かして頂きます

講師：村田町歴史みらい館専門員 石黒伸一郎 氏

3/6(水)

◆会場：福室市民センター第1会議室

◆時間：10:00~12:00 ◆対象：成人 40名(先着)

◆申込み：2/5(火) 10:00~電話・窓口・FAXでお申し込みください。